

令和6年度第2回松戸市立博物館協議会 会議録

日 時	令和6年12月8日（日）10時～11時30分
場 所	松戸市立博物館 実習室
出席者	<p>（委員）</p> <p>会 長 小島 孝夫 副会長 佐藤 孝之 委 員 藤崎 裕二 委 員 大西 一樹 委 員 谷鹿 栄一 委 員 岡田 啓時 委 員 竹内 やよい 委 員 頓田 絵里子</p> <p>（事務局）</p> <p>生涯学習部長 井之浦 太郎 博物館館長 渡辺 尚志 文化財保存活用課職員（博物館） 10名</p>
議 題	<p>1. 松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画における外部評価について</p> <p>2. 常設展示について</p> <p>①内覧</p> <p>②意見交換</p>
公開 非公開	公開（傍聴者0人）
配布資料	<p>・次第</p> <p>・「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画における外部評価について」資料</p>

事務局 議事に入る前にご報告を申し上げます。松戸市立博物館管理運営規則第14条第2項の規程により、本会議の成立は、委員の過半数の出席が必要とされております。本日は8名のご出席をいただいておりますので、本会議は成立となります。

会長 傍聴希望者はいませんので、このまま議事に沿って進めてまいります。まず、議題について博物館館長より諮問がございます。

「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画における外部評価について」、博物館館長より説明をお願いします。

館長 議題1「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画」は、ご承知のとおり令和5年4月1日に策定しました。今年で2年目を迎えております。現在、この「基本構想・基本計画」に沿って事業を行っているわけですが、その進捗状況や達成度を検証する「事業評価」が求められます。

「評価」にはふたつございまして、ひとつは博物館内で行う「内部評価」です。次に「外部評価」も必要となります。この「外部評価」を担っていただくのに、博物館協議会を措いて他にはございません。

そこで別紙「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画 事業評価要綱（案）」作成いたしました。こちらの要綱をもちまして、博物館法第23条第2項および松戸市立博物館条例第8条の規定により、松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画における外部評価機関として松戸市立博物館協議会を定めさせていただきたく、諮問いたします。よろしく願いいたします。

会長 ただいま館長から諮問のありましたように、松戸市立博物館協議会を外部評価機関として定めることの可否を本日審議することとなります。

欠席の委員が2名おりますが、そちらについては事務局から後日経緯を説明いただくことで、本日この場で可否を決するところまで議事を採りたいと思います。まず、私から一つよろしいですか。資料として、本案件に関する要綱（案）がついておりますが、これは本日の可否によって、この要綱（案）も連動するというところでよろしいでしょうか。

事務局 左様でございます。

会長 わかりました。それではただ今諮問にもありました「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画における外部評価」について、事務局より説明をお願いします。

1. 「松戸市立博物館リニューアル基本構想・基本計画における外部評価」
～資料に基づき事務局から説明した～

会長ありがとうございます。ただいまの説明についてご意見、ご質問等がございましたらお願いします。

委員確認ですが、このような外部評価機関を博物館協議会が担ったという事例は過去にありますか。

事務局今回のようなリニューアル基本構想・基本計画に関する外部評価をお願いする、という試みは初めてでございます。博物館協議会の皆様には、本計画の立ち上げから計画策定までご意見、ご指導をいただいております。諮問機関である皆様から評価いただく、ということが一番有益ではないか、ということでお願いをさせていただいております。

会長大学などでは、第三者から外部評価をいただくなどしています。博物館協議会は博物館をよく理解している、というのはそのとおりですが、市民の皆様から見たときに、博物館と協議会はある意味一体化している存在、と見なされるかもしれないという懸念がございます。その点については十分議論いただいた上での、今回の諮問ということですか。他の皆さん、いかがでしょうか。

委員会長が仰るとおり、市民の方から見れば一緒に見えるかもしれない、という懸念があることは私も気になりました。しかし、やることについては吝かではありません。

会長私共も、計画の立ち上げから携わってまいりましたので、理解者、協力者という立場から、これについての外部評価という責任は十分に果たせると思います。一方で、第三者の視点からみた、内部と外部との境界の捉え方について委員の皆さんも心配されている、ということですが如何でしょう。

事務局この計画は10年に亘るもので、毎年評価いただき、より良いものを実現させていくというものです。博物館協議会の委員の皆様が一番当館を理解してくださっており、実効性を高めるためにも今回、皆様をお願いしたいと判断いたしました。

会長事務局としても、その辺の事情を踏まえたうえで、我々に依頼をする事が有益であるとの判断で、今回の諮問に至っている、とのことですが、皆さん如何でしょうか。

委員事務局の説明を聞いて理解はいたしました。この協議会自体、外部の人員で成り立っているものですので、まあ、お引き受けすることに異論はありません。

会長他に皆さん、いかがでしょうか。

委員一度この評価体制が成り立つと同時に、今後も同じ体制が続いていくのか。それとも途中で別の人が入ってくるのか、など気になっています。

会長それについては、我々の任期が来年の9月までとなりますので、来年度の第1回協議会までに試行的に事業評価を作成するところまでを担うことになると思います。

私たちも博物館協議会の委員を拝命し、リニューアル基本構想・基本計画の立ち上げから係わってきておりますので、本日、館長より諮問いただいた、リニューアル基本構想・基本計画における外部評価機関として、博物館協議会がお受けすることについて、承認する、ということによろしいでしょうか。

「異議なし」の声

会長ありがとうございます。本日、館長より諮問いただきました、リニューアル基本構想・基本計画における外部評価機関を私たち博物館協議会が担う、ということで承認し、答申いたします。

事務局ありがとうございます。

会長次に、「常設展の内覧について」事務局よりご案内があります。現在常設展示のリニューアルを進めておりますので、委員の皆様には、改めて幅広い視点で常設展をご覧いただき、後ほど展示リニューアルを見据えた忌憚なきご意見を頂戴したいと思います。事務局お願いします。

事務局それでは総合展示室へ移動していただき、内覧となります。皆さん、展示室への移動をお願いします。

～常設展内覧～
※内覧終了後、実習室へ戻る

会長 それでは、常設展についてご覧いただきましたので、委員の皆さん、リニューアルを見据えた貴重なご意見やご感想をお聞かせください。端から順番にお話してください、よろしくお願いします。

委員 近世が専門ですのでその辺で言いますと、江戸時代全体の流れの説明が少し足りない感じがしました。その流れの中で松戸がどうなっていくのか、その説明があるとなお良いと思います。あとは、近現代が少し不十分に感じますので、リニューアルの際にはもっと充実させることを期待します。

委員 古代など思い切った展示に振り切っていて、良かったです。歴史が好きでもどうしても古代とか飛ばしてしまうので、展示で感じられるのは素晴らしいと思います。それから、子どもが如何に自分事として捉えられるか、ということが大事なので、小金城などは現在の様子がもっとわかるように展示すると子どもたちも身近に感じると思います。また、今はSNSが主流なので、撮影の可否について、それぞれに分かり易くつけてほしいです。

委員 地下の渡り通路の分岐点で、博物館に誘うアピールがもう少しあるほうが良いと思います。展示は素晴らしいと思いますが、壁と床の使い方が勿体ないと思います。壁に分かり易く目につくように、展示への案内が掲げられると、展示への興味に繋がるので、中に繋がる導線を意識して行ってほしいです。

委員 展示は分かり易く、見易かったです。主題展示室については、松戸の特徴をとらえたもので良いと思うが、部屋に入りにくさも感じられたので、導入の部分をもっと入り易くして欲しいと思います。また、空間の使い方が少し勿体ない、と感じました。

委員 学校から近く、よく利用していますが、最近、土日に若い人が増えてきたと感じます。博物館というどうしても少し敷居が高いので、そこを少しでも低くして、気軽に来られるようにして欲しいです。小学生にとっても、気軽に来られて、あそこに行けば知的好奇心がくすぐられる、というような

場所になって欲しいです。

委員よく利用しますが、空間の使い方で目線が同じく感じるので、少し上に行くような、とか変えられると良いと思います。あとは五感が使えるともっと良いと思います。特に触る、触れる、持てるなど、実際に経験できることが博物館の醍醐味だと思います。

委員やはり、市民が愛する博物館、市民にとってまた来たくなる場所、市から出てまた戻ってきたくなる場所、親が子ども連れて行きたくなる場所、に当然なっていくと思います。以上です。

会長ありがとうございます。今、皆さんからいただいたご意見、ご感想は今後、リニューアル計画が進んでいく段階で、検討内容として取り入れられていくことと思います。私たちは博物館リニューアルの外部評価を担っていくことになりましたので、松戸市立博物館がこれからも、より親しまれる、最新の研究成果が確認できるような施設となるよう協力していきたいと思います。

他に委員の皆さんから何かございますか。無いようですので、以上で議事を終了いたします。事務局にお返しします。

事務局ありがとうございました。ここで、博物館館長から皆様にご挨拶を申し上げます。館長、よろしくお願ひします。

～博物館館長挨拶～

事務局事務局から連絡事項がございます。本日、企画展示室にて「博物館アワード」を開催しております。小学3年生から中学3年生までの子ども達が日本の歴史上の人物・遺物・遺跡（史跡）・民俗（祭り芸能）などをテーマに創作したイラストレーションや自由研究の作品展となります。せっかくですので、お帰りの際にでもお立ち寄りいただけますと幸いです。次回の協議会は、令和7年3月頃に開催を予定しております。本日は長時間にわたってご審議いただき、ありがとうございました。これをもちまして令和6年度第2回松戸市立博物館協議会を終了いたします。